

今号のニュース

坂口志文氏

ノーベル生理学・医学賞受賞(2ページ)

研究所報告会 開催(2ページ)

新任医師のご紹介(2ページ)

患者満足度調査から見えること 今後の改善に向けて2025(3ページ)

病院トピックス

感染制御部長 藤原 豊

みんなで守る「安心の医療」(4ページ)

がんの疑いがある方への二次検診のご案内(4ページ)

研究所トピックス

がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美

空間疫学研究とがん診療の実態把握(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】
海老ワンタンスープ(7ページ)

【イベント・講座インフォメーション】
愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)
愛知県がんセンターYouTubeはじめました(7ページ)

【シリーズ:とうろく医探訪】No.38
さいとう整形外科リウマチ科
院長: 齊藤 究^{きわむ}先生(6ページ)

坂口志文氏の ノーベル生理学・医学賞受賞について

運用部経営戦略課企画・経営グループ 主事 村上 海太郎

このたび、大阪大学の坂口志文特別栄誉教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

坂口教授は1977年から約3年間、当センターにおいて研究生として研鑽を積まれました。ノーベル賞受賞発表の際には「The work for which he is awarded was initiated at Aichi Cancer Center Research Institute in Nagoya」と紹介され、当センターでの研究が受賞の出発点であったことが明確に示されました。

今後も当センターは、がん研究のさらなる発展に向けて、世界に誇れる研究拠点として挑戦を続けてまいります。



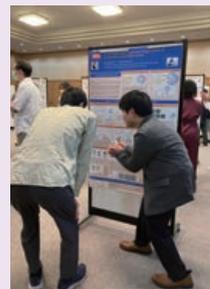
©Nobel Prize Outreach Photo:Nanaka Adachi

研究所報告会 開催

腫瘍制御学分野長 小根山 千歳

愛知県がんセンター研究所では、年に一度、所内メンバーが研究成果を発表・討論する「研究所報告会」を開催しています。今年度は2025年10月10日に実施され、午前は研究員・リサーチレジデント・大学院生20名によるポスター発表が行われ、2班に分かれて活発な議論が交わされました。異分野融合研究開発分野・先端イノベーション研究開発分野を含む10分野の紹介ポスターも掲示されました。午後は互選で選ばれた6名による口演発表が行われ、最優秀口演賞には藤下晃章主任研究員と小野島大介ユニット長、最優秀ポスター賞には向井智美研究員が選ばれました。

研究所員が一堂に会し、活発な議論が交わされ、充実した1日となりました。写真はポスター会場の全体図と討論の様子を示しています。



新任医師のご紹介 新しい医師が入りました



消化器外科部 医長

山口 淳平 (Junpei Yamaguchi)

経歴 名古屋大学卒、独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院、JA岐阜厚生連久美愛厚生病院、国立がんセンター中央病院、JA愛知厚生連安城更生病院、金沢大学医学部医学系研究科形態機能病理学、名古屋大学医学系研究科腫瘍外科学、Massachusetts General Hospital, Department of Surgery、大垣市民病院、名古屋大学医学部附属病院

専門分野 肝胆膵外科 **専門医等資格等** 外科学会認定医、外科学会専門医、消化器外科学会専門医、外科学会指導医、消化器外科学会指導医、肝胆膵外科学会高度技能専門医、膵臓学会認定指導医、膺ロボット支援手術プロクター **一言** 最先端の肝胆膵外科治療を患者さんに届けるよう尽力します。



患者満足度調査から見えること 今後の改善に向けて2025

運用部経営戦略課医事グループ 主事 重藤 新子

愛知県がんセンターでは、安全で安心な医療サービスを提供するため、患者さんからご協力いただき、毎年「患者満足度調査」を行っております。2025年は外来で10月7日、9日、入院で10月7日～9日に実施しました。その結果をお知らせします。

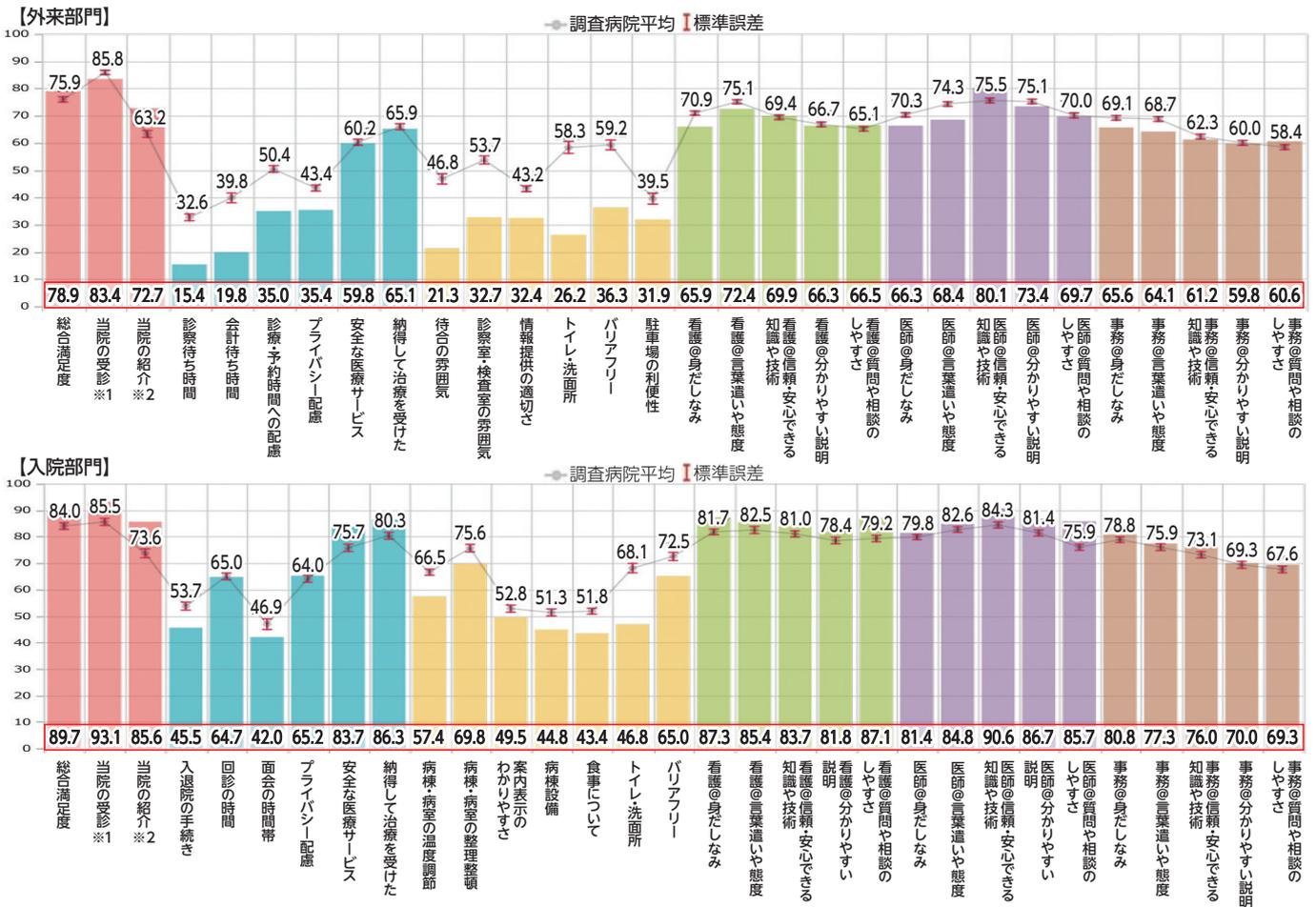
1.調査件数

【外来部門】 配布枚数:300枚
回収数:270件(回答率:90.0%)

【入院部門】 配布枚数:300枚
回収数:205件(回答率:68.3%)

2.調査結果

- 1)総合的に当院を100点満点で評価すると何点ぐらいになりますか。 ①外来部門 81.5点 ②入院部門 88.2点
2)各項目の満足度ポイントについて
・各設問を「非常に満足(はい)」「満足(どちらかというとはい)」「普通」「やや不満(どちらかというといえ)」「不満(いいえ)」の5段階にて評価いただき、「非常に満足(はい)」「満足(どちらかいうとはい)」と回答した方の割合を満足度ポイントとして算出しています。
・グラフ下方の赤枠の数値が当院の満足度ポイントです。



※1次回も当院を受診したいですか。 ※2当院を他の方へ紹介したいと思いませんか。

3.総評

「患者満足度調査」にご協力いただきありがとうございました。本調査は、当院が患者さんの視点に立ち、安全で安心できる医療サービスの提供を目指すうえで、貴重なご意見をいただく重要な機会となっております。昨年度に引き続き、医師の「信頼・安心できる知識や技術」は、同規模病院と比較して高い評価をいただきました。また、昨年度の調査結果を受けて、職員の接客改善や外来の待ち時間対策に取り組んでおりますが、今回の調査でも待ち時間に関するご意見を多くいただき、引き続き重要な課題であることを再認識しました。

いただいた貴重なご意見、調査結果をもとに、今後も職員一丸となって改善に取り組んでまいります。
(患者サービス委員会委員長 向井 未年子)

ホームページにおいても結果をご覧ください。
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/about/hospital/satisfaction/>



みんなで守る「安心の医療」

感染制御部長 藤原 豊



こんにちは。感染制御部です。

私たちは、病院の中で感染症が広がらないようにするための取り組みを行っています。患者さんや職員が安心して治療やお仕事ができるように、病院の安全を支えるとても大切な仕事です。

感染対策の基本は、まず「手指衛生(手洗いや手指消毒)」です。手は、ウイルスや細菌が人から人へうつる一番の通り道です。そのため、職員には定期的に手の洗い方や消毒の仕方を確認し、正しく行えるよう指導しています。患者さんにも、来院時やお食事の前などに手指消毒をお願いしています。小さなことのようにですが、これが感染予防の第一歩です。



また、病院内の各部署が行っている感染対策の様子を見守り、必要に応じてアドバイスをしています。細かい部分にも気を配ることで感染のリスクを減らすことができます。こうした積み重ねが、患者さんの安心につながるのです。

さらに、他の病院とも情報を交換し、お互いの取り組みを評価し学び合う交流もおこなっています。

そして、今回ご紹介したいのがワクチン接種の取り組みです。当院では、通院・入院患者さんへインフルエンザのほか、带状疱疹、新型コロナの予防接種も行っています。これらの病気はがん患者さんにとって特に重症化しやすくなることがあります。ワクチンを受けることで発症を防いだり、症状を軽くしたりすることができます。

ワクチン接種を希望される方は、主治医や看護師にいつでもご相談ください。

感染制御部は、これからも「安心できる医療」を守るために、皆さんと一緒に取り組んでまいります。

がんの疑いがある方への二次検診のご案内

愛知県がんセンターでは、人間ドックや健康診断で「がんの疑いがある」と診断された方を対象に、二次検診を実施しております。ご希望の方は紹介状や診察予約が無くても受診を受け付けております。受診については下記までお問い合わせください。

【開業医の先生方へ】

クリニックの検診等で「がんの疑いがある」患者さんがおられましたら、疑いの段階でも構いませんので、当院へご紹介ください。

問い合わせ・連絡先

地域医療連携室(直通) 電話(052)764-9892



空間疫学研究とがん診療の実態把握

がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美

当分野では近年、全国がん登録、人口動態調査、国勢調査などの公的データを用いた空間疫学研究を進めています。これらの情報をもとに、市区町村や小学校区といった地域単位で、社会経済状況、がん罹患、がん死亡の分布を明らかにしています。

解析の結果、がんの罹患率は北日本や関東・関西の大都市部で高いなど、地域による明瞭な差が確認されました。さらに、社会経済的状況とがん罹患・死亡との関連を評価したところ、貧困度の高い地域ほどがんに罹患し死亡する人が多く、その影響は都市部でより強いことが明らかになりました。

社会経済格差の拡大と都市化が進む日本において、都市部でのがん格差の縮小は今後のがん対策における重要課題といえます。

一方、当分野では愛知県内のがん診療連携拠点病院の協力のもと、院内がん登録とDPCデータの継続的な収集・分析にも取り組んでいます。2019年以降の診断症例を対象とした「院内がん登録でみる愛知県のがん診療」を発刊し、各施設が自院の診療の特徴を把握するための資料として活用されています。また、予後情報を集約した生存率編の報告書も発刊し、県内のがん診療の実態を共有する取り組みを進めています。



地域格差の実態解明と、県内がん診療の現状把握。

当分野では今後も、これらの取り組みをそれぞれ発展させ、日本全体のみならず、愛知県におけるがん対策の推進と、そこから求められるがん医療の充実にもつながる知見を提供していきます。

愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
企画・経営グループ

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (代)
FAX 052-764-2963
メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



ご寄附のお礼



愛知県がんセンターへご寄附いただいた皆さまへの感謝の気持ちをより広くお伝えするため、がんセンターHPにおいて、2025年11月以降にご寄附いただいた方のご芳名の掲載をさせていただきます（お申込み時に、氏名の公表に同意いただいた方のみ掲載しております）。

多大なご支援をいただいておりますことに、職員一同、心より感謝申し上げます。



PCの方は
こちらから

<https://x.gd/5UNGP>



スマートフォン
の方は
こちらから

寄附者ご芳名



さいとう整形外科リウマチ科 院長:齊藤 究^{きわむ}先生

なかなか治らない痛み、ご相談ください。

さいとう整形外科リウマチ科 院長の齊藤 究です。当院は名古屋市名東区平和が丘の猪高車庫近く、アオキスーパーの前にあります。関節リウマチと整形外科・リハビリを専門とするクリニックとして、開業から15年で37,000人の方の治療に当たり、リウマチ患者さんは現在800人以上が通院されています。関節リウマチは200人に1人の身近な病気です。関節が痛くなったり、腫れたり、こわばったり、多くは複数の関節が痛くなります。放置すると関節が壊れる怖い病気ですが、関節超音波でリウマチの炎症が見える時代になり、早期発見が可能となりました。リウマチかな?と思ったら、お気軽にご相談ください。



整形外科では腰痛や膝の痛み、骨折などはもちろん、特に「レントゲンやMRIでは異常がない」けど治らない、難治性の痛みの治療を得意分野としています。筋肉や神経を丁寧に触診し、エコーも活用して痛みの原因をつきとめるように心がけています。痛みの治療にはリハビリもとても大切です。理学療法士とも定期的に勉強会を行い、日々成長と研鑽を怠らず診療に磨きをかけています。エコー診療を日々行っていると、思わぬしこりを見つけることもしばしば。その時にはがんセンターの先生と速やかに連携を取り、しこりの専門的な診断をしていただいています。2026年5月には日進浅田町に分院を開院します。痛みで困っている方はご相談ください。



医療機関情報

さいとう整形外科リウマチ科

診療科目 整形外科・リウマチ科

電話 052-776-3110

所在地 〒465-0097
名古屋市名東区平和が丘1-10

ホームページ <https://saito-seikei.jp/>
右記の二次元コードからでもアクセスできます▶



診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:30	●	▲	▲	●	▲	●	/
15:30~18:00	●	●	/	●	●	/	/

※診療開始時間 ●午前8:30~/午後15:30~ ▲午前8:45~
※新規の患者様の受付時間は午前11:00まで、午後18:00までです。



ハローワーク東へ徒歩1分、もしくは、
猪高車庫交差点西へ徒歩1分
ショッピングセンターコスモ(アオキスーパー)向かい

編集後記

第38回は名東区平和が丘の、さいとう整形外科リウマチ科、齊藤 究先生です。アオキスーパー向かいの、モダンなガラス張りの外観が目印で、中に入りますと清潔感のあるラウンジのような待合、リハビリ室に繋がる美術館のような階段が目を引きま。"訪れるだけで元気になる場所でありたい"、そのための工夫が、空間の随所に施されているだけでなく、患者さんの痛みに対し真っすぐ向き合う姿勢、そして実績が、ホームページより伝わってきます。クリニックの理念が「出逢った人の"楽しい!" 明日のために」であり、患者さんを生活者として捉え、痛みや悩みを治すだけではなく、その先の楽しい生活を送ることができるところまで応援することを体現化されています。これからもよろしくお願いたします! y.sano

栄養管理部おすすめメニュー

調理師：滝澤 幸二 管理栄養士：嘉津山 瑞恵
「海老ワンタンスープ」

つるつとしていて食べやすいワンタンをスープにしました。食欲がない時でも、タンパク質や野菜を補うことができます。ワンタンを作るのが大変な場合は市販のワンタンでもよいでしょう。寒い冬にぜひ作ってみてください。



材料(3人分)

- ★ワンタンの皮 15枚
- ★むき海老 100g
- ★白はんぺん 50g
- ★塩胡椒(具の中の味付け) 少々
- ★ねぎ 1/2本
- ★水 900ml
- ★ガラスープの素 大さじ1
- ★醤油 小さじ1
- ★塩胡椒 少々
- ★鶏卵 2個

作り方

- ①むき海老、白はんぺん、塩胡椒をフードプロセッサーにかける。(ミキサーの場合は、水又は酒大さじ1杯程度入れてかける)
- ②①をワンタンの皮にのせ、ふちに水をつけながら包んでいく。
- ③鍋に、水、ガラスープの素、醤油、塩胡椒を入れ煮立たせ、②のワンタンを入れる。
- ④ひと煮立ちさせ、ワンタンが浮いてきたら、斜め切りにしたねぎを入れる。
- ⑤溶き卵を回し入れ、完成。



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ちしております。

アンケートの回答はこちらから

※アンケートは5分程度でお答えいただけます。
 ※アンケートの締め切りは、2月28日です。



PCの方は
こちらから

<https://forms.gle/eUKZTw5iyk5UiKuYA>



スマートフォンの方は
こちらから

がんセンター
NEWS
第95号読者
アンケート



愛知県がんセンター



はじめました



皆さまのチャンネル登録
よろしくお願いいたします

イベント・講座インフォメーション



令和7年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	テーマ	講演者
5	R8.2.6(金)正午～ R8.2.24(火)正午まで	第5回「患者支援」 1.当院における患者支援について 2.がん相談支援センターについて 3.ムッシュ・デブレに訊く 4.アピアランス支援について 5.AYA世代(思春期・若年成人)がん患者・家族への支援	司会 婦人科部長 鈴木史朗 1.婦人科部 鈴木史朗部長 (AYA世代がん患者支援委員会・委員長) 2.地域医療連携・相談支援センター 野崎由美子室長補佐 3.精神腫瘍科部 小森康永部長 4.看護部 井上さよ子専門員 (アピアランス支援委員会・副委員長) 5.緩和ケアセンター 吉川恵師長 (AYA世代がん患者支援委員会・副委員長)

◇視聴料：無料(ただし、通信料は自己負担願います。)

◇視聴方法：事前申込が必要

※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。

◇視聴対象者：どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
 愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
 TEL：052-762-6111(内線2511・2521)
 FAX：052-764-2963
 愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/about/academy/>



医療連携のご案内		寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)	詳細は 二次元コード または HP 「寄附のお願い」を ご覧ください 
電話	052-764-9892 (直通)	
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)	
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp/outpatient/community/	

外 来 診 療 担 当 表

受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休診日	土、日、祝日、年末年始

※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤) 2026年1月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	堀尾	原(和)	室	堀尾	田近
消化器内科	原(和)(初) 田中(初) 奥野(の) 田近(SO)	原(和)(初) 田近 山田(初) 桑原 松本	原(和)(初) 羽場 田近(初) 孝田 伊藤(信) 松本	丹羽(初)(第1・2・4・5週)<午後> 水野(初) 奥野(の) 田中(初)<午前> 伊藤(信)(初)<午前> 孝田	田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田(SO)<午後>
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(哲)(再) 堀尾(再) 清水(再)	藤原(豊)(初) 渡辺(再) 田宮(初)	清水(初) 藤原(豊)(初) 田宮(再) 山口(哲)(初)	山口(哲)(初) 堀尾(再) 清水(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(哲)(再) 藤原(豊)(初) 田宮(再)
循環器科	小川			小川	
血液・細胞療法	川口(初・再) 萩原(再)	鏡味(初・再) <隔週は午後のみ> 山本(初・再) 楠本(初・再) 河合(初・再) 大野(龍)(SO)(非)	川口(再) 齋藤(初・再) 大野(龍)(SO)(非)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(龍)(SO)(非)	河合(再) 萩原(初・再)
薬物療法	安藤(初) 室(初)<午後> 舛石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)<午後>	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇<午後> 舛石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)<午後> 成田(初)
頭頸部外科	花井(再)<午前> 寺田(再) 別府(初・SO)<午前>	鈴木(秀)(再) 横井(再)(第1・3・5週) <午前> 別府(再)(第2・4週)<午前> 小林(初・SO)<午前>	花井(初・SO)<午前> 小林(再)	花井(再)(第2・4週) 寺田(再)(第1・3・5週) <午前> 横井(再) 鈴木(秀)(初・SO)<午前>	別府(再) 小林(再)(第1・3・5週) <午前> 鈴木(秀)(再)(第2・4週) <午前> 横井(初・SO)<午後>
形成外科	鈴木(寛)(第1・3・5週) 鍋谷(第2・4週) 奥村	鈴木(寛)(第2・4週) 鍋谷(第1・3・5週) 奥村 大島	藤岡 大島<午前> 鈴木(寛)	鍋谷 奥村 大島	
呼吸器外科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	鈴木(聡)(初・再)	瀬戸(初・再)
乳腺科	片岡(再) 小谷(初・SO) 遠藤(再) 原(文)(SO)(第1・2・3・5週)<午後> 服部(再)(第4週)<午後>	吉村(初・SO) 安東(再) 原(文)(再・SO)	小谷(再) 遠藤(初) 秋田(再) 原(文)(SO)<午後>	片岡(初) 小谷(再) 原(文)(初・再) 能澤(再)<午前> 遠藤(再) 安藤(再)<午後>	安東(再) 秋田(初) 吉村(再) 片岡(再)
消化器外科	榎垣 安部 三澤(第2・4週) 木下(第1・3・5週)	三澤 木下 奥野(正)	小森康司 伊藤(友) 山口(淳)	伊藤(誠) 大内 安部 浅野	岸田 安部<午後> 稲田<午前> 細井<午前>
整形外科・ サルコマセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(初)	筑紫(初)	吉田(初)		濱田(初) 藤原(那)(初)
脳神経外科	灰本<午後>		大野(真)	灰本	大野(真)
泌尿器科	小島(初) 川瀬 武内	担当医(初)	小島 川瀬(初) 北野	担当医(初)	北野(初) 平林(初) 武内
婦人科	篠田(初)	鈴木(史)(初) 渡邊 北見(初)	植草(初) 北見(初)	鈴木(史)(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 植草(初)	渡邊(初)
放射線診断科・ 放射線IVR科	村田	長谷川貴章	稲葉(初) 山浦	村田(初)	稲葉 加藤
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)
緩和ケア科	下山	下山 長谷川貴昭(非)	下山	下山	下山
ペインクリニック			木村(非)<午後>		
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	衣斐	梅垣	梅垣	梅垣	梅垣

※現在、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。
 ※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
 ※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのアクセスのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋1C」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

